

あなたは「逆算力」という言葉を知っていますか？

たぶんはじめて聞く言葉だと思う。これはあなたが知っている「打算」とはまったく違う。打算は頭の中で電卓を弾き、損得勘定で動くことを言う。仕事で言うなら、お金のために働く人のことを言う。

一方、「逆算」とは、目的や目標を相手の立場から考えてプランを練る。10年先や全体像やそのあるべき姿から考えて動くことを言う。しっかりとゴールを描き、そのゴールからスタート地点に向かって走る。その間に最短時間・最小努力でゴールにたどり着ける道を見つけ、それから悠々とスタート地点に立つのである。

こうすると一からコツコツと積み上げるよりも早くゴールに到着できる。迷路に迷い込むことがなくなる。時間のムダを省き、労力がカットできる。その分、時間も体力もあるので、自然と自分に余裕ができ、目の前の雑用に追われることがなくなり、仕事の成果も期待できる。自分のしたいことに集中でき、考える時間が生まれる。結果としてあなたはサクサクと仕事の効率を上げ、年収のアップが可能。

さて、私が夫と共に会計事務所で働き始めたのは今から4年前の平成17年1月である。夫の病気がきっかけだった。それまでの15年間、三姉妹の子育てに明け暮れ、飛行機にも乗ったことのない専業主婦だった。当然、ビジネスも経営も会計も知らなかった。だが、病に倒れた夫ひとりにムリして働かせるわけにはいかなかった。

ところがである。働き始めると、コツコツ努力型が取り柄の私はろまなカメのように仕事に追われ残業の日々。一方、夫はピョンピョン跳ねるウサギのようにさっさと仕事を済ませ次なる目標に向かっていく。くやしい。この差はいつたいなんなのか。さらに差が開くではないか！ そんな私を見かねて夫はある日こう言った。

「ケツから考えろ！」

「え、えっ、ケツって・・・」

「お尻だよ。お尻から考えるんだよ」

かくして私はその日から物事をゴールから考え始めた。これを名づけてマイコピー、「逆算力」という。「お尻力」ではあんまりだもの・・・。